

INFORMATION PROCESSING UNIT

Patent Number: JP11341423

Publication date: 1999-12-10

Inventor(s): IMAI KUNIO

Applicant(s): CANON INC

Requested Patent: JP11341423

Application Number: JP19980142542 19980525

Priority Number(s):

IPC Classification: H04N5/91; H04N5/76; H04N7/083; H04N7/087;

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To print out designated broadcast contents at a designated time.

SOLUTION: A program information storage device 110 stores data such as information fields to be printed out as a table in combination with print times. A data broadcast extract device 300 through an antenna 210 and a tuner 200 receives data multiplexed on a television signal. The device 300 extracts and analyzes data of a data broadcast program and extracts HTML data and their relating data and stores the obtained HTML data to a corresponding directory of a storage device 310 via a buffer 305. A CPU 400 reads the data from the storage device, processes the data so that the data are laid out as designated, and stores the resulting data to a layout finished data storage device 605. The data that are to be converted in a display form and stored in the device 605 are supplied to a printer 800 via a printer controller 610 at a designated time, from which the data are printed out.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(7)

【発明の効果】本発明を用いることにより、テレビジョン放送の届くところならば何処でも、アンテナを飛んで電波を入れるだけで、毎日、決まった時刻に、テレビジョン画面の映像を中断することなく、画像を育むデータストリームを紙の上に傳えることができる。また、任意の時間に見たい情報を紙の上に取出すことができる。

【図1】日本国内における放送について、テレビジョン放送の垂直ブランク期間に重畳される文字放送とデータ放送の多重位置を示す図。

【図2】データ放送またはデータ放送のデータラインの構造を示す図。

【図3】データラインのフレイムス部の構造を示す図。

【図4】データ放送の伝送制御データの構造を示す図。

【図5】文字放送の番組データヘッダの構造を示す図。

(8)

【図6】第1の実施例を示すブロック図。

【図7】第1の実施例のブロック図の処理プログラムの流れ。

【図8】第2の実施例を示すブロック図。

【図9】第2の実施例のブロック図の処理プログラムの流れ。

【符号の説明】

100：既定ユーザーインターフェース

110：番組情報配信部

110：番組記憶部

(9)

【図3】

【図4】第1の実施例を示すブロック図。

【図5】第2の実施例を示すブロック図。

【図6】第1の実施例のブロック図の処理プログラムの流れ。

【図7】第2の実施例のブロック図の処理プログラムの流れ。

【図8】第1の実施例を示すブロック図。

【図9】第2の実施例を示すブロック図。

【符号の説明】

0001：データチャンネル

0002：データチャンネル

0003：データチャンネル

0004：データチャンネル

0005：データチャンネル

0006：データチャンネル

0007：データチャンネル

0008：データチャンネル

0009：データチャンネル

0010：データチャンネル

0011：データチャンネル

0012：データチャンネル

0013：データチャンネル

0014：データチャンネル

0015：データチャンネル

0016：データチャンネル

0017：データチャンネル

0018：データチャンネル

0019：データチャンネル

0020：データチャンネル

0021：データチャンネル

0022：データチャンネル

0023：データチャンネル

0024：データチャンネル

0025：データチャンネル

0026：データチャンネル

0027：データチャンネル

0028：データチャンネル

0029：データチャンネル

0030：データチャンネル

0031：データチャンネル

0032：データチャンネル

0033：データチャンネル

0034：データチャンネル

0035：データチャンネル

0036：データチャンネル

0037：データチャンネル

0038：データチャンネル

0039：データチャンネル

0040：データチャンネル

0041：データチャンネル

0042：データチャンネル

0043：データチャンネル

0044：データチャンネル

0045：データチャンネル

0046：データチャンネル

0047：データチャンネル

0048：データチャンネル

0049：データチャンネル

0050：データチャンネル

0051：データチャンネル

(10)

【図6】

【図7】第1の実施例のブロック図の処理プログラムの流れ。

【図8】第2の実施例を示すブロック図。

【図9】第2の実施例のブロック図の処理プログラムの流れ。

【符号の説明】

0001：データチャンネル

0002：データチャンネル

0003：データチャンネル

0004：データチャンネル

0005：データチャンネル

0006：データチャンネル

0007：データチャンネル

0008：データチャンネル

0009：データチャンネル

0010：データチャンネル

0011：データチャンネル

0012：データチャンネル

0013：データチャンネル

0014：データチャンネル

0015：データチャンネル

0016：データチャンネル

0017：データチャンネル

0018：データチャンネル

0019：データチャンネル

0020：データチャンネル

0021：データチャンネル

0022：データチャンネル

0023：データチャンネル

0024：データチャンネル

0025：データチャンネル

0026：データチャンネル

0027：データチャンネル

0028：データチャンネル

0029：データチャンネル

0030：データチャンネル

0031：データチャンネル

0032：データチャンネル

0033：データチャンネル

0034：データチャンネル

0035：データチャンネル

0036：データチャンネル

0037：データチャンネル

0038：データチャンネル

0039：データチャンネル

0040：データチャンネル

0041：データチャンネル

0042：データチャンネル

0043：データチャンネル

0044：データチャンネル

0045：データチャンネル

0046：データチャンネル

0047：データチャンネル

0048：データチャンネル

0049：データチャンネル

0050：データチャンネル

0051：データチャンネル

0052：データチャンネル

0053：データチャンネル

0054：データチャンネル

0055：データチャンネル

0056：データチャンネル

0057：データチャンネル

(11)

【図7】

【図8】第1の実施例を示すブロック図。

【図9】第2の実施例を示すブロック図。

【符号の説明】

0001：データチャンネル

0002：データチャンネル

0003：データチャンネル

0004：データチャンネル

0005：データチャンネル

0006：データチャンネル

0007：データチャンネル

0008：データチャンネル

0009：データチャンネル

0010：データチャンネル

0011：データチャンネル

0012：データチャンネル

0013：データチャンネル

0014：データチャンネル

0015：データチャンネル

0016：データチャンネル

0017：データチャンネル

0018：データチャンネル

0019：データチャンネル

0020：データチャンネル

0021：データチャンネル

0022：データチャンネル

0023：データチャンネル

0024：データチャンネル

0025：データチャンネル

0026：データチャンネル

0027：データチャンネル

0028：データチャンネル

0029：データチャンネル

0030：データチャンネル

0031：データチャンネル

0032：データチャンネル

0033：データチャンネル

0034：データチャンネル

0035：データチャンネル

0036：データチャンネル

0037：データチャンネル

0038：データチャンネル

0039：データチャンネル

0040：データチャンネル

0041：データチャンネル

0042：データチャンネル

0043：データチャンネル

0044：データチャンネル

0045：データチャンネル

0046：データチャンネル

0047：データチャンネル

0048：データチャンネル

0049：データチャンネル

0050：データチャンネル

0051：データチャンネル

0052：データチャンネル

0053：データチャンネル

0054：データチャンネル

0055：データチャンネル

0056：データチャンネル

0057：データチャンネル

(12)

【図8】

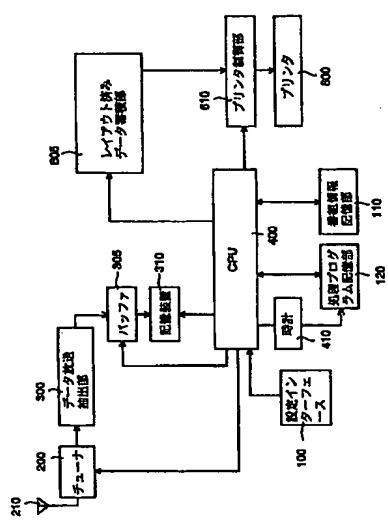
【図9】第1の実施例を示すブロック図。

【図10】第2の実施例を示すブロック図。

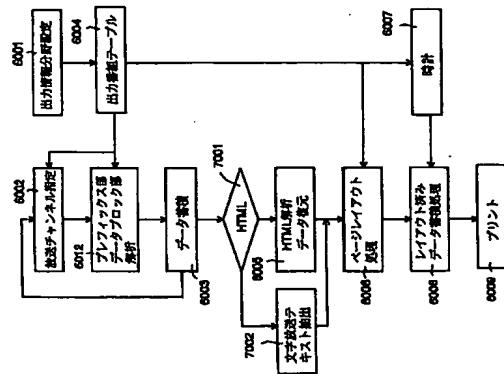
【符号の説明】

1000：既定ユーザーインターフェース

[図6]



[図9]



[図8]

